

2021年5月13日

---

2020年度

# 決算概要

---

 SUMITOMO CHEMICAL  
社長 岩田 圭一



**I**

**2020年度決算概要**

**3**

**II**

**2021年度年間業績予想および配当予想**

**7**

# I

## 2020年度決算概要

# I 2020年度 年間業績 vs 前年度 実績

Change & Innovation 3.0: For a Sustainable Future

(単位：億円)

	2020年度 実績	2019年度 実績	差異
売上収益	22,870	22,258	612
コア営業利益	1,476	1,327	150
営業利益(IFRS)	1,371	1,375	-4
親会社の所有者に 帰属する当期利益	460	309	151

ナフサ価格	¥31,300/kl	¥42,900/kl
為替レート	¥106.10/\$	¥108.70/\$

(単位：億円)

	2020年度 実績	2019年度 実績	差異	差異要因
石油化学	-120	145	-265	石油化学品市況下落、大型定修
エネルギー・機能材料	203	203	-1	
情報電子化学	397	251	146	ディスプレイ材料、半導体材料 販売増加
健康・農業関連事業	315	21	295	農薬出荷増加、 メチオン市況上昇 NF南米子会社新規連結
医薬品	717	753	-36	ロイバント提携に伴う先行費用 増加
その他	-36	-46	10	
<b>合計</b>	<b>1,476</b>	<b>1,327</b>	<b>150</b>	

## II

# 2021年度年間業績予想および配当予想

## 2020年度

景気の減速局面

米中对立激化

新型コロナウイルス感染症拡大

## 2021年度

ワクチン普及による感染症の収束期待

大型景気対策による米国経済回復

DX加速・革新技術の社会実装

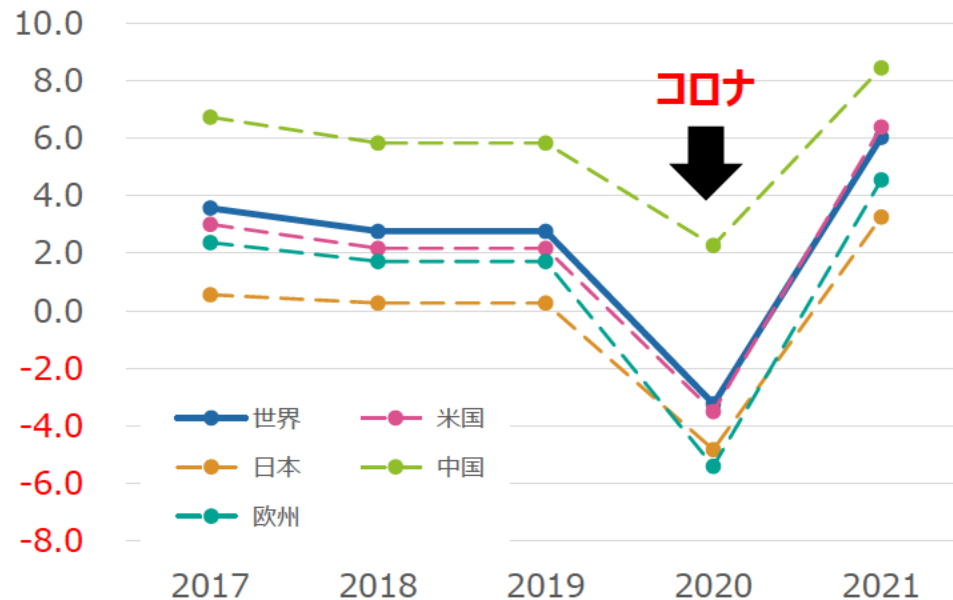
カーボンニュートラルの潮流

米中对立継続

コロナ変異株による感染再拡大懸念

(%)

## GDP成長率推移



IMF WEO April 2021より

世界経済は新型コロナウイルス感染症から回復基調ではあるが、道半ばと見込む。

## 新型コロナウイルス感染症拡大の業績への織り込み

### 2020年度実績

#### 自動車関連需要

- 合成樹脂の出荷減少、市況下落
- 車載電池・タイヤ部材の出荷減少

### 2021年度見通し

- 堅調な自動車生産に伴い自動車関連需要のコロナ影響は発生しない見通し

#### ディスプレイ関連需要

- スマホ・TV部材の出荷減少も2Q以降は限定的

- 巣ごもり需要やテレワーク普及からディスプレイ関連需要は旺盛。コロナ影響は発生しない見通し

医農薬のライフサイエンス分野では、大きな影響は見込まれない

#### コア営業利益への影響

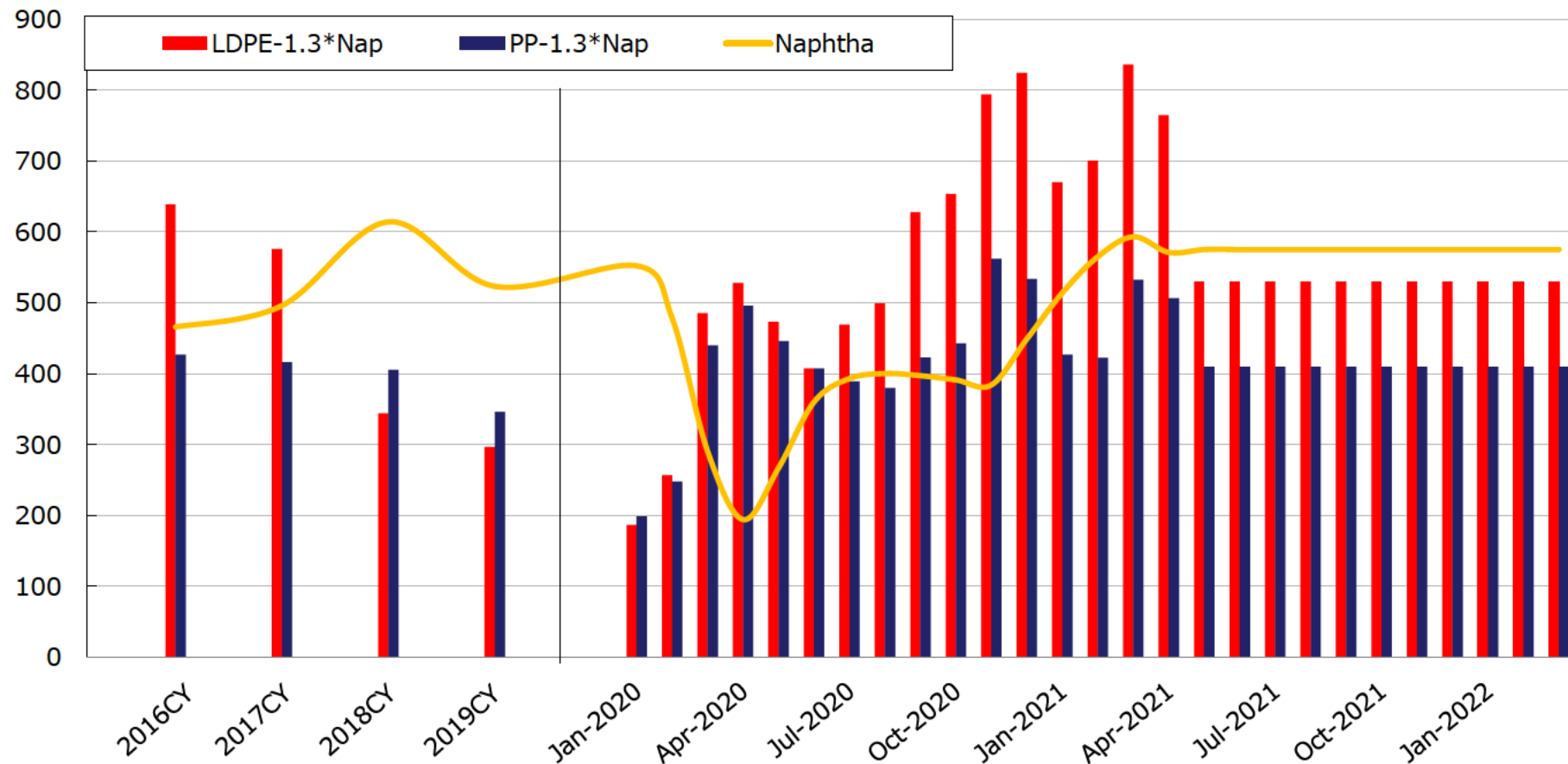
約 ▲290億円

マイナス要因は  
軽微



(市況：\$/MT)

ポリオレフィンマージン推移



- ・OPECプラスの協調減産や経済活動の再開により、原油・ナフサ市況は堅調に推移
- ・北米寒波影響により高騰している石油化学品市況は適正な水準まで是正

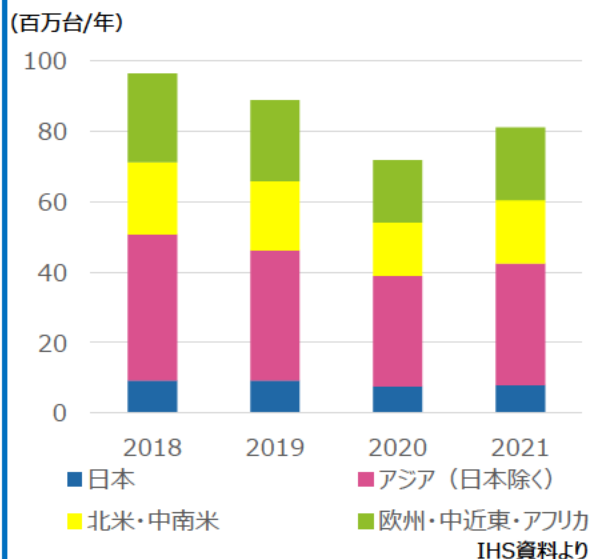
# Ⅱ 2021年度 主要顧客産業動向

Change & Innovation 3.0 For a Sustainable Future

## 自動車

需要全体はコロナ影響から緩やかな回復基調。半導体不足による自動車減産が懸念されるが、総じて21年度は堅調な需要を見込む。

世界の乗用車生産台数見通し

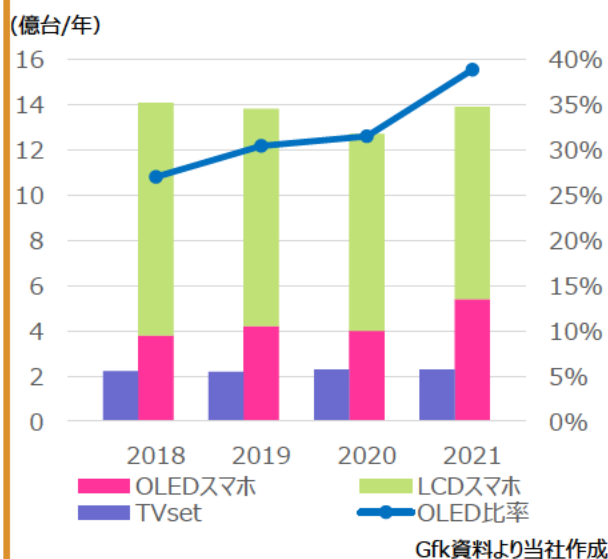


## ディスプレイ

TV：需要はほぼ横ばいも、液晶パネル業界再編による中国シフト加速。

スマホ：需要全体は19年並みまで回復。顧客機種のOLED化が大きく進む。

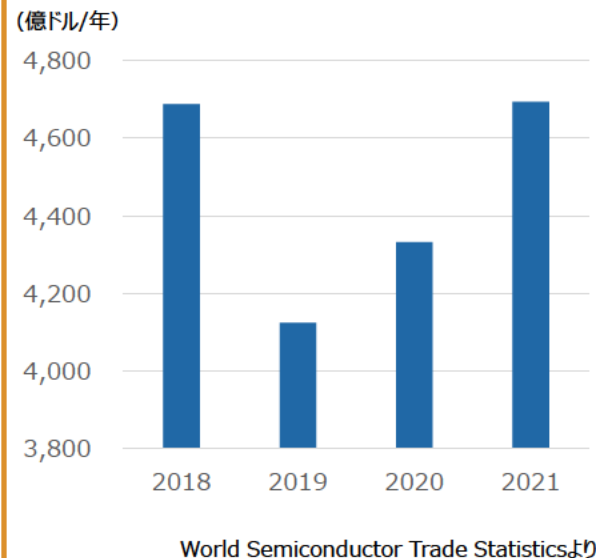
世界のTVセットおよびスマートフォン需要見通し



## 半導体

Withコロナの生活様式／DXの継続・5G本格普及等を背景に、堅調な市場拡大を見込む。

世界の半導体出荷額見通し



## 作付面積

## 北米

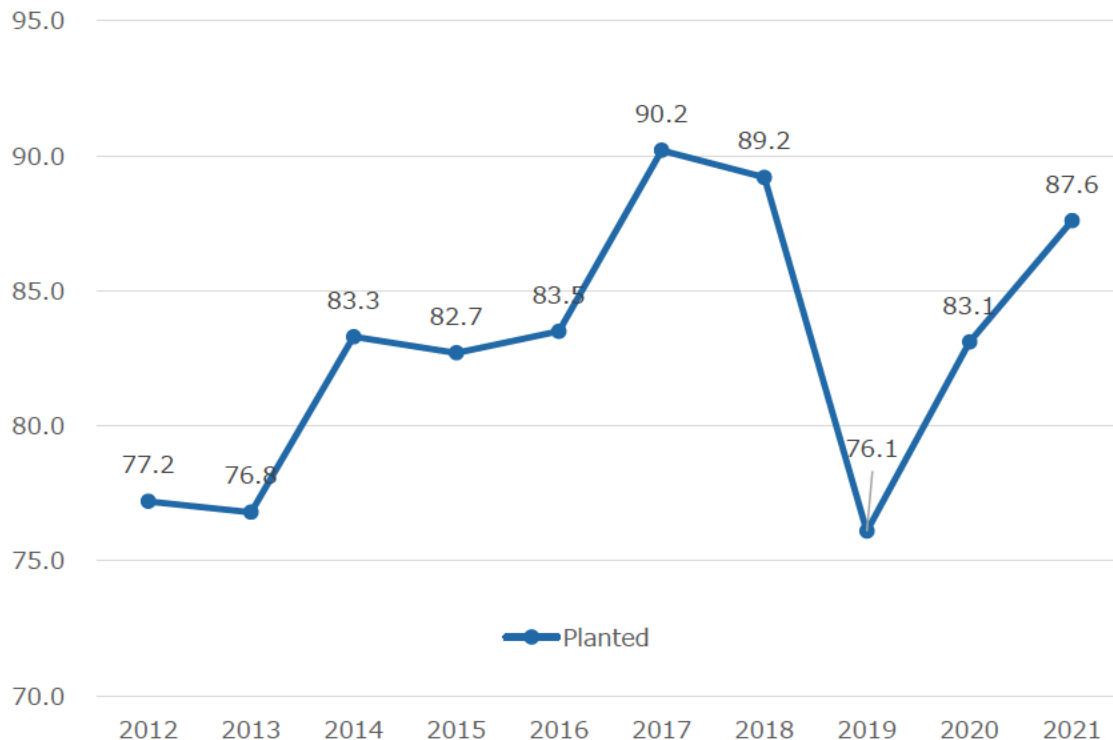
とうもろこしや大豆等の農作物価格上昇による農家の投資・購買意欲の改善から、作付面積は拡大

## ブラジル

2020・21年シーズンも作付面積の拡大が継続

Million Acres

## 米国の大豆の作付面積推移



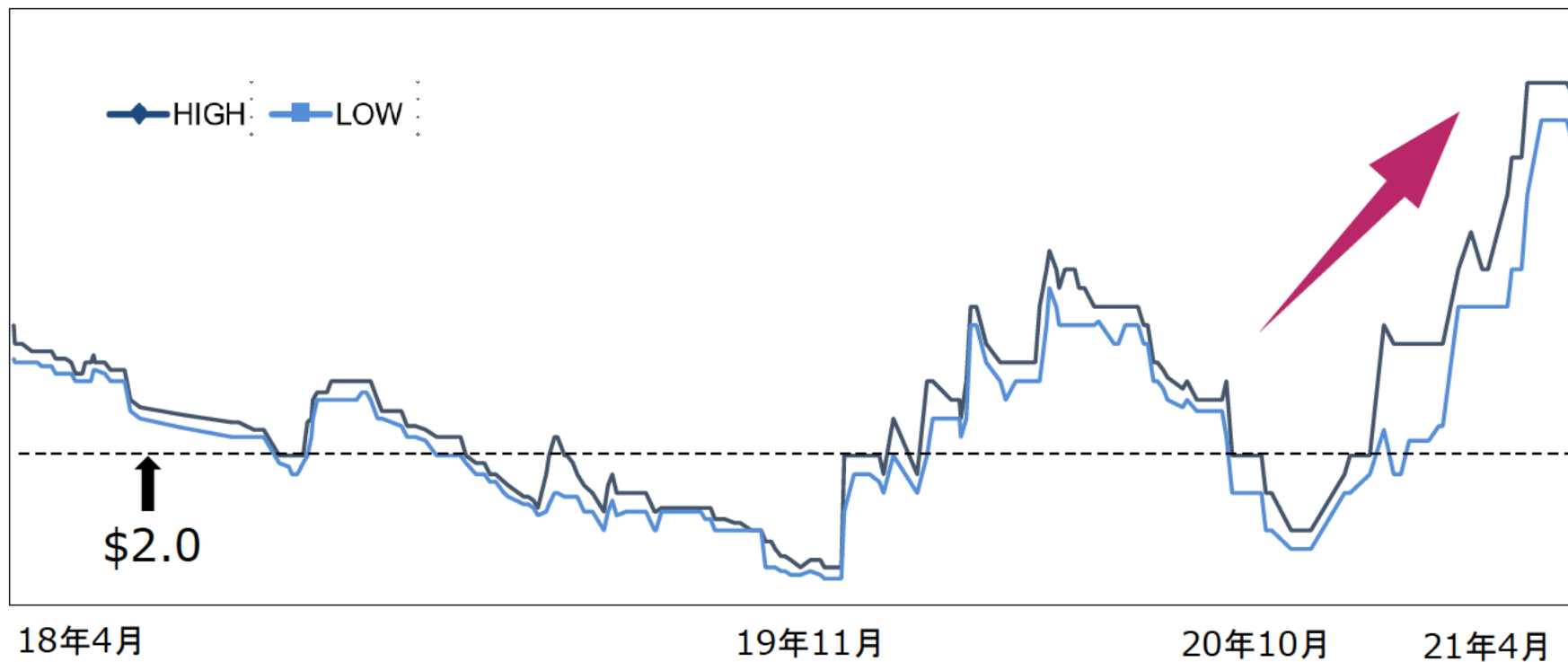
United States Acres Department Agriculture  
(March 31, 2021)より当社作成

## 世界の天候状況

北米での2019年春の大洪水以降は、大きな異常気象は発生しておらず、2021年度では想定していない。

欧州平均価格

粉メチオニン市況推移

Source: [feedinfo.com/pages/DL\\_Methionine\\_99](https://feedinfo.com/pages/DL_Methionine_99)

需要

引き続き堅調

供給

他社工場停止

物流

コロナ禍で混乱

昨年冬以降、**価格は上昇中**

## II 2021年度 年間予想 vs 前年度 実績

Change & Innovation 3.0: For a Sustainable Future

(単位：億円)

	2021年度 予想	2020年度 実績	差異
売上収益	26,100	22,870	3,230
コア営業利益	2,000	1,476	524
営業利益(IFRS)	1,800	1,371	429
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,000	460	540

ナフサ価格	¥47,000/kl	¥31,300/kl
為替レート	¥110.00/\$	¥106.10/\$

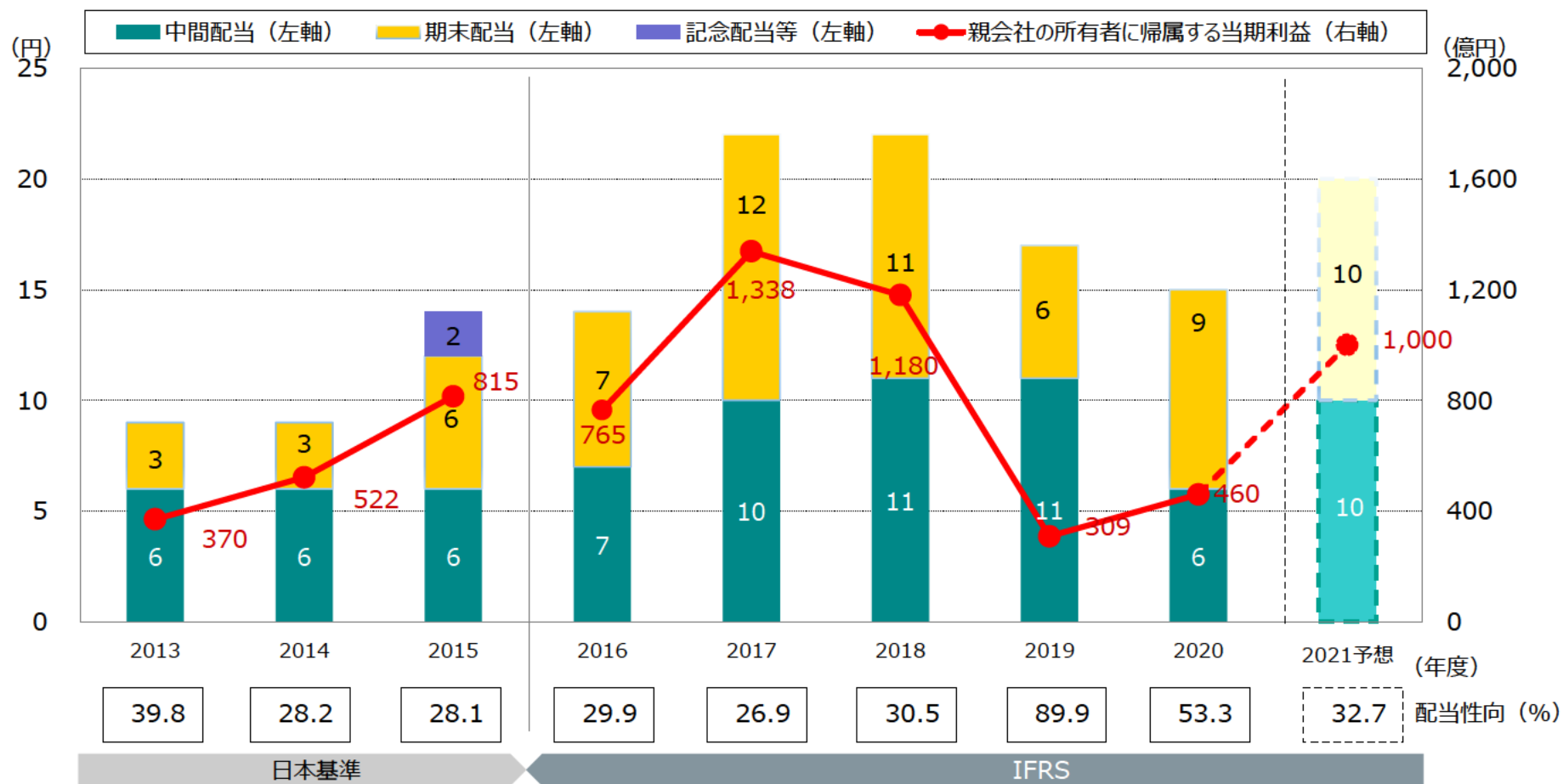
※2019年度比

(単位: 億円)

	2021年度 予想	2020年度 実績	2019年度 実績	差異	差異要因
石油化学	360	-120	145	215	石油化学品市況回復
エネルギー・機能材料	190	203	203	-13	原料価格上昇等
情報電子化学	400	397	251	149	ディスプレイ材料・半導体材料出荷増加
健康・農業関連事業	380	315	21	359	農薬出荷回復、 メチオン市況上昇、 NF南米子会社新規連結
医薬品	670	717	753	-83	ロイバント提携に伴う先行 費用増加
その他	0	-36	-46	46	
<b>合計</b>	<b>2,000</b>	<b>1,476</b>	<b>1,327</b>	<b>673</b>	



当社は、剰余金の配当の決定にあたり、株主還元を経営上の最重要課題の一つと考え、各期の業績、配当性向ならびに将来の事業展開に必要な内部留保の水準等を総合的に勘案し、安定的な配当を継続することを基本としております。また、当社は中長期的には配当性向30%程度を安定して達成することを目指しております。





## 中期経営計画 基本方針

1

次世代事業の  
創出加速

2

デジタル革新による  
生産性の向上

3

事業ポートフォリオの  
高度化

4

強靱な財務体質の実現

Change &  
Innovation 3.0For a  
Sustainable  
Future

5

持続的成長を支える  
人材の確保と育成・活用

6

コンプライアンスの徹底と  
安全・安定操業の継続

現中計最終年度として、実行した施策から具体的な成果をあげ、  
事業収益力の強化、財務体質の改善、技術基盤の強化を最大限図る

### 注意事項

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。